

みどりの杜俳句会

面会の二人が来たり冬木道

佐山けさ子

重さうに杵持ち上げて餅つけり

鈴木 啓子

食堂に皆集まりて餅つけり

梅沢きくえ

かはるがはる鏡餅つき杜日和

田村 好子

面会の話弾あり春の窓

今村千鶴子

正月の青空つづく日和かな

高橋 ツ子

寒風に飛ぶ雲速し御堂山

西 ツル

雪混ちる強風の音夜の窓

木村 弘子

寒晴れや昼の入浴済み憩ふ

吉田 愛子

枯れ枝に引っ掛かりさう二日月

保泉キクエ

クリスタルの花瓶いっぱい寒水仙

関口 侑子



着膨れてばらの垣根の手入れかな

野口利江子

日の当たる卓に鉢植多福寿草

岡部富美子

篠藪に絡みて枯るる烏瓜

鯨井 和枝

落葉踏み砕くる音の森小道

土屋 厚子

行者道登り山頂小春空

初雁 功子

山畑の晴れて正月風上がる

山田 美子

人権シリーズ

401

『人権感覚を育てる』

世の中にあるさまざまな差別。その多くが無知、無理解からくる。また、今も風潮は「弱い者はいじめる。」まさに、人権感覚の欠如である。

さて、小中学校の交流・連携が進められてきた東秩父村。2学期の中学校合唱祭。槻小の高学年が一緒小学生は合唱の迫力にびびくり。中学生は大きな拍手に感激。年下にかっこ悪いところは見せられない。背筋がジシツと伸びる。

さらに、連携・一貫教育が進むとどんなことができ、どんな変化が起こるだろうか。

給食は、全児童生徒が一緒に。下級生が上級生に面倒を見てもらうだけでなく、上級生は面倒を見ながら、どうしたら配膳・片付けがスムーズにいくか、みんなが楽しく食事ができるかなど、下級生を通していろんなことを考え学ぶ。ランチルームの出口、廊下、ぶつからないようにお互いが気遣う。

4年生と8年生と一緒に校外学習に行く。当然、いろんな面で力は違う。この違いがお互いを認め合うことになる。違いを認め合わないと一緒に行動できないからだ。8年生の中に、元気でちよつと乱暴な生徒。帰り道、4年生の荷物が背中に両腕に。4年生が疲れていたから持ってあげたと言う。4年生に聞くと、自分達に合わせ歩いてくれたり、休憩をとってくれたり、みんな優しくかったと言う。「弱い者はいたわらなきや」「やさしく接しなきや」と気づく。

異年齢の子供たちが入り混じって、社会性を身に付けていった昔の空き地のような空間が学校の中に来た。さまざまな経験が人権感覚を育てる。

学校教育指導員 瀬上 仁直

東秩父村教育委員会開催のお知らせ

日時 3月28日(火) 午後1時30分～

場所 役場2階新会議室

問合せ 教育委員会事務局 ☎82-1230

